

備風

BI

FU

2023・3月

岡山県環境整備事業協同組合



VOL.59

掲示板（事業活動）

令和4年度 第18回全国環境連全国大会

令和4年10月14日 長野市 ホテルメトロポリタン長野

3年ぶりとなった全国環境連全国大会が長野県にて開催されました。今回は「浄化槽によるローカルSDGs（地域循環共生圏）の実現」をテーマとし、山田幹二常任理事が循環型社会の構築と社会貢献に向けた展望や挑戦の発信、我々の業の安定的な発展を実現することを目指すとして力強く大会宣言をされました。



続いて長野県知事阿部守一氏よりご挨拶を賜り、この豊かで美しい信州の自然に触れるとともに、いかにしてこのような豊かな自然環境を守っていくかを我々と力を合わせて一緒に考えていきたいと述べられました。我々も健全な企業活動を継続していくために行政と力を合わせて取り組んでいく決意を新たにしました。

次に会場を移し、環境省 環境再生・資源循環局 廃棄物適正処理推進課の筒井誠二課長より「廃棄物・リサイクル行政の最近の動向」と題して講演が行われました。環境関係法令および労働関係法令の遵守、事業継続計画（BCP）の策定の取り組みや地域社会貢献等により住民からの信頼向上を図ること、災害廃棄物への対応、資源循環分野の目指すべき方向性、また浄化槽の普及促進などについてお話しされました。

最後に多数のご来賓の方々を迎えて懇親会が行われ、久方ぶりに全国の組合員が親睦を深めるとともに情報交換できる有意義な場となりました。（益本 麻衣）

岡山県環境整備事業協同組合青年部主催「浄化槽維持管理に関する研修会」

令和4年11月24日 岡山県環境整備事業協同組合 研修室

岡山県環境整備事業協同組合青年部主催の「浄化槽維持管理に関する研修会」が株式会社ハウステックの大嶋様、合田様をお招きして開催されました。



研修ではハイパッキーKRS型浄化槽の保守点検・清掃・施工についての説明が行われ、まず特徴として業界No.1クラスの浅型スリム設計（5人槽 全高：1,365mm 長さ：1,990mm 幅：950mm）であること、放流管底が浅いので放流先への接続性が向上され、既設単独槽の入替工事が容易にできることが説明されました。

また、KRS型浄化槽のカットモデルを研修会場に展示していただき、構造と機能の概要、維持管理、清掃において特に気を付ける点やトラブルへの対処方法など実際に日ごろの仕事に活かせる知識や技術を習得できる内容となっていました。

今回の研修では、ZOOM オンラインでハウステック結城工場（茨城県）とつなぎ工場内見学をリアルタイムで体験できる内容となっており、浄化槽の製造工程など普段は見ることのできない貴重な体験となりました。

近年、浄化槽は処理性能の向上、コンパクト化に伴う技術の高度化が進み、維持管理についても新たな知識や実務上の技術の習得が必要となっています。

今回の研修では KRS 型浄化槽の保守点検、清掃のポイントをご説明いただき知識を深めることができました。（道広 祐太）

岡山県環境整備事業協同組合及び環整連政治連盟 岡山県支部による令和5年新年会

令和5年1月27日 岡山市 ANA クラウンプラザホテル岡山

コロナ禍の中約60名の参加のもと、寺尾邦弘常務理事の司会により新年会が執り行われた。牧生夫理事長の開会あいさつで始まり、妹尾芳訓専務理事より令和5年の主要な行事予定及び組合ホームページの説明があった。※岡山県環境整備事業協同組合ホームページ (<http://okayamakankyo.com>)

令和5年の行事予定として、(一社)岡山県浄化槽団体協議会研修会が2月22日岡山市、岡山県環境整備事業協同組合通常総会が5月29日岡山市、全国環境連中国地区協議会通常総会が7月20日鳥取県米子市、全国環境連全国大会が10月13日熊本県熊本市において開催されるとの説明があった。私ども業界を取り巻く環境は、ますます困難な状況になっております。このような中で、様々な課題に全力を挙げて取り組んでいく旨の説明があった。コロナの関係により、昨年と同様食事会は行われずティータイムのみとなったが、無事新年会を開催することができました。これからはwithコロナの新たな時代になっていくと思われるので、より一層組合員同士が協力しあい助け合うことが大切だと再確認することが出来た。閉会のあいさつは、岡井智之副理事長により行われ、新年会は盛会のうちに閉会した。

(畑 裕貴)



令和4年度 全国環境連中国地区協議会青年部研修会

令和5年2月22日 兵庫県三田市 株式会社モリタエコノス本社工場

令和4年度全国環境連中国地区協議会青年部研修会は岡山県青年部が担当し、中国地区各県の青年部員一同で、衛生車や塵芥車、また高圧洗浄車や強力吸引車等の特装車の開発・製造・販売を行っている、兵庫県三田市の株式会社モリタエコノス本社工場の視察を行いました。

この視察研修会では、2017年に完成した最新設備を備える工場内の車輛塗装ライン、製造ライン、完成検査ライン等を見学しました。

車輛塗装ラインでは、オートメーションで車体を洗浄し、塗料槽に浸漬し荷電することで強力な塗装膜を形成するカチオン電着塗装を行い、乾燥焼き付けをする工程を見学しました。

また、製造ライン・完成検査ラインでは、車体や部品に対する現場のニーズに細かく対応しながらも、入庫から搬出まで一貫した工程と品質管理で、日本全国各地の業者へ届けるため、多くの車体が製造されました。

今回の視察研修を終えて、現場で作業を行うわれわれ業者の円滑な業務のため、さまざまなニーズに対応し、現場の声に寄り添って製造を行っていることを再認識しました。

今後も、業務に対する知識を深め、共有し、気運を高め共に協力して環境保全に一層努めて参ります。

(吉岡 隆司)



行事予定

令和5年3月15日	全国環境連第6回理事会（東京）
3月20日	全国環境連中国地区協議会第5回執行部会（リモート会議）
3月28日	組合第6回常任会・理事会（組合研修室）
5月2日	令和4年度組合会計監査（組合事務所）
5月9日	組合第1回常任会・理事会（組合研修室）
5月19日	組合青年部第48回通常総会（組合研修室）
5月17日	全国環境連第1回理事会（東京）
5月29日	第66回組合通常総会（岡山市）
6月14日	全国環境連通常総会（東京）
6月21日	全国環境連中国地区協議会第1回執行部会・理事会（岡山市）
6月27日	組合第2回常任会・理事会（組合研修室）
7月20日	第59回全国環境連中国地区協議会総会・第2回執行部会・理事会（米子市）
7月26日	全国環境連第2回理事会（未定）
8月2日	全国環境連中国地区協議会第3回執行部会・理事会（リモート会議）
8月22日	組合第3回常任会・理事会（組合研修室）

シリーズ第56回 水とくらし

中山 雅統

私たちは日常生活の中で、飲み水や炊事、洗濯、風呂、水洗トイレなどのほか、飲食店や商業施設、オフィスなどで、たくさんの水を「生活用水」として使っています。ほかにも、日本では、工場などで部品などの洗浄や冷却などのための「工業用水」や、お米をはじめとする各種農作物を育てるための「農業用水」など、様々な目的でたくさんの水が使われています。

日本では、これらの「生活用水」、「工業用水」、「農業用水」などの水源は空から降った雨や雪が源となっています。私たちが毎日使う水の主な源は川の水であり、その大もとは空から降った雨水です。雨を降らせるのは、海や陸の水が蒸発して大気中にできた雨雲であり、そこから地上に降った雨は川となったり、地下水となったりして、やがて海へ戻っていきます。そして海の水は再び大気中に蒸発し、雲をつくって雨を降らせます。また、地上に降った雨の一部は植物が吸い上げ、葉などから大気中に蒸散して雲の成因のひとつになります。このように、水は地球規模で循環しているのです。

私たちは、その水の循環の中で、主に川から水を利用しています。上流、中流、下流の流域全体で川の水を分け合い、水道用水や農業用水などに利用しています。ただ、川の水には、人間の体に有害な物質やウイルス、大腸菌などの菌も含まれており、浄水場や浄化槽をはじめとする様々な施設をつくるなど、安全に使える水をいつでも得られるようにするために、様々な取組が行われています。

活 動 報 告

R4. 9.14 全国環境連第3回理事会（長野市）	R5. 1. 5 新年あいさつ（岡山県知事・倉敷市長）
9.22 組合第3回常任会・理事会（組合研修室）	1. 6 新年あいさつ（岡山市長）
10. 3 第36回全国浄化槽大会（東京都）	1.18 全国環境連第5回理事会・新春懇談会
10.14 全国環境連第18回全国大会（長野市）	1.20 岡山市による浄化槽法改正に伴う説明会（岡山市）
10.18～19 第36回全国浄化槽技術研究集会（松山市）	1.26 組合ホームページ立ち上げ
11. 6 児島湖流域清掃大作戦	1.26 全国環境連中国地区協議会第4回執行部会（リモート会議）
11.14 自由民主党岡山県議団へ浄化槽関係の要望書提出	1.27 組合新年会・第5回常任会・理事会（岡山市）
11.16 全国環境連第4回理事会（リモート会議）	2.22 （一社）岡山県浄化槽団体協議会主催の研修会「生活排水処理の現状と今後」（岡山市）
11.24 組合青年部による浄化槽管理に関する研修会（組合研修室）	
12.13 事業部西日本高速道路㈱中国支社（広島市）	

編集後記

年末年始と猛威を振るってきた新型コロナウイルスの影響が収まりつつあり、5月には感染症レベルの引き下げも予定され、新年度がスタートしようとしています。しかし、世界の情勢は依然不安定さを抱えたままであり、経済に及ぼす影響は今後も少なくないと予想されます。その中で、我々にできることは、ごく小さいものではありますが、SDGsの理念に則り、より良い生活を送るためにも、お互いを尊重し、目の前の問題を解決していかなければならないと感じます。

BIFU

Vol.59

発行日 令和5年3月15日
 発行 岡山県環境整備事業協同組合
 編集 機関紙担当理事 妹尾 芳訓
 住所 岡山市南区山田291-2
 tel/fax 086-282-6455/086-282-6685
 E-mail okakan01@poem.ocn.ne.jp
 印刷 (有)エーピープランニング